

## 有料老人ホーム・高齢者住宅

## 選びに強くなる！

第6回  
最終回

## 「見学のポイント」

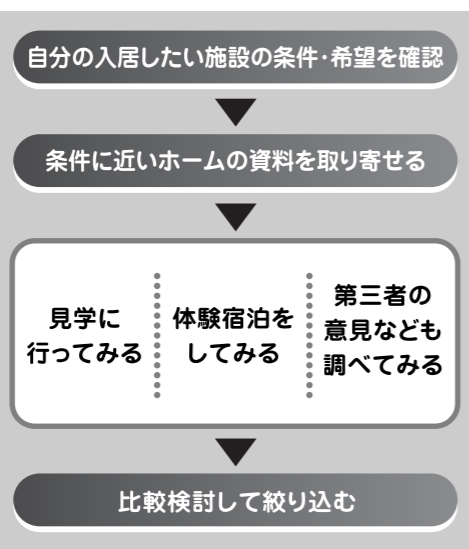
## 1 見学に出かける前に

資料を取り寄せて、比較検討した上である程度絞り込んだら、施設の見学に出かけましょう。

初めての場合は、せっかく見学に行っても聞きたいことがほとんど聞けないまま終わってしまう方が多いようです。そこで、見学時に施設の様子を冷静に見極めるために、事前にチェックシートをつくっておくことをおすすめします。

そして、見学は1つだけではなく、いくつかを見て、自分なりの判断基準をつくっていきましょう。

表1 有料老人ホーム・高齢者住宅探しの手順



本当に自分に合った有料老人ホーム、高齢者住宅<sup>\*1</sup>を見つけるには、ご自身の目で現場を確かめる必要があります。  
6回<sup>\*2</sup>にわたり連載してきた「シニア暮らし方講座」最終回は、実際に施設を見学する時のポイントをお話します。

※1 高齢者専用賃貸住宅やシニア向け住宅など。居住施設がバリアフリー化されており、外部サービス提供者（配食業者、訪問介護事業者など）を活用することで、食事、介護、看護、医療などのサービスを受けることも可能。

※2 第1回:2007年9月27日付朝刊、第2回:同年11月24日付朝刊、第3回:同年12月28日付朝刊、第4回:2008年1月24日付朝刊、第5回:同年2月21日付朝刊

## 2 チェックシートを作ろう

チェックシートをつくるには、まず、自分（家族）は何のために有料老人ホーム、高齢者住宅に入ろうと思っているかを明確にすることです。そのためには何が必要なのかを考えれば、チェックすべき項目が見えてきます。

チェック項目をいくつか書き出したら、優先順位をつけましょう。「絶対譲れない条件」「あればいいなという条件」「なくてもいい条件」とランク付けしておけば、より効率的に見学することができます。

また、見学は複数の施設で行い、比較してみることが大切。チェックシートには評価を書き込む欄を設け、各項目に自分なりの点数を記入しましょう。漠然とした印象よりも具体的に数字で比較することで、より確かな目安となります。良い→A・普通→B・良くない→Cなどで評価を記入しておくだけでも、後から比べやすくなります。

## 3 体験宿泊で夜間の様子を知らう

いくつかの施設を見学し、チェックシートの評価をもとにさらに絞り込んだら、今度は体験宿泊をしてみましょう。

通常、施設の見学は昼間に行われますが、夜の様子はまた違うものです。宿泊すれば、夜間の共用スペースの明るさや安全性、食事や入浴なども、身をもって体感することができます。また、高齢者の場合、夜間に容態が急変するケースが少なくありません。そうした緊急時の対応もわかるかもしれません。

もちろん、体験宿泊を行う際もチェックシートを忘れずに。

やまなか ゆみ  
講師:山中由美さん

株式会社Pro-visionチーフコンサルタント。  
シニア生活情報誌「もも百歳」の編集に携わり国内外の老人ホーム300か所以上を取材。

表2 体験宿泊時のチェック項目例 

## 共用部分

夜間も共用部分は明るいか  
フロント対応は何時まで可能か  
夜勤スタッフ数は  
安心できる体制か

## 居室（モデルルーム）

夜間や早朝の騒音などないか  
日当たりはどうか  
季節で変化がありすぎないか  
設備は使いやすいか

## 食事

楽しそうに食事をしているか  
時間はゆとりがあるか

メニュー選択ができるか

## お風呂

大浴場を使ってみてどうか  
掃除など行き届いているか

脱衣場の気温差も  
考慮されているか

緊急事態に備えているか

今回の  
まとめ

## 自分流チェックシートで評価

有料老人ホーム、高齢者住宅に入る目的は、人それぞれ。希望条件を明確にすることからチェック項目を導き出し、見学・体験宿泊を通してしっかりチェックした上で、入居を判断しましょう。